

平成23年度第2回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成23年8月31日(水曜日)林野庁中央会議室			
委員		前原一彦(公認会計士) 鍛冶良明(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		平成23年1月1日～平成23年3月31日			
審議対象案件		186件	うち、1者応札案件26件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件		
抽出案件		10件 (抽出率5%)	うち、1者応札案件6件 (抽出率23%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		物品・役務等	一般競争	8件	うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	随意契約(企画競争・公募)		1件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	随意契約(その他)		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項) ・抽出の10件については、1者応札や改札率の低かったもの等を抽出した。				
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		
			回答等		
		(詳細に記述すること。)			
		(別紙のとおり)			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
【これらに対し部局長が講じた措置】		□ □			

事務局：林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回答
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	<b>物品・役務等関係</b> <b>〔抽出番号1：平成23年度国際森林年推進事業（国際森林年国内委員会事務局業務）〕</b> ・入札執行調書に記載されている技術点は、どのようになっているのか。 ・総合評価点がパーとなっているのは何故か。 ・予定価格はどのように設定しているのか。 ・技術審査結果はあるのか。	・応札者の企画提案を基に評価基準に基づき審査した結果である。 ・入札価格が予定価格を上回っていたためである。 ・マニュアルに基づき設定している。 ・ある。
	<b>〔抽出番号2：平成23年度森林吸収源インベントリ情報整備事業（「森林経営」対象森林の第一約束期間中の増加率調査）〕</b> ・1者応札での落札となっているが、OBの再就職者はいるのか。 ・応札が1者となった理由は、何かあるのか。	・再就職者はいない。 ・1者応札の理由は、不明であるが、前年度の落札者は、今回とは別の者であった。
	<b>〔抽出番号3：平成23年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業（高付加価値型製造システム：水蒸気爆砕法樹脂製造タイプ）〕</b> ・当該事業は継続事業であるが、何カ年の事業なのか。 ・各年度の平均事業費はどのくらいか。 ・5カ年計画の事業とのことであるが、計画途中で事業を中止することはあるのか。	・5カ年計画の事業で、3年目の事業である。 ・初年度は、研究施設整備等から1億円程度であったが、以後については、各年度の研究目的により予算措置されているところである。 ・委員会等で事業内容の検討を行っているところであり、事業の必要性がないと判断された場合は、事業中止もありえる。
	<b>〔抽出番号4：平成23年度地球環境保全等試験研究費による研究開発に係る委託事業〕</b> ・随意契約（公募）となっているが、公募は実施していないのか。 ・「小笠原諸島における帰化生物排除後の森林の順応的管理方法の開発」とは、具体的にどのような内容か。	・環境省からの移替予算で、環境省にて公募を実施している。 ・仕様書に記載しているとおりである。
	<b>〔抽出番号5：国有林野情報管理システムに係る運用・支援業務一式〕</b> ・落札業者以外にはできない業務なのではないか。 ・予定価格は、抽出番号1と同じ考えかたなのか。	・システム内容については、閲覧できるものとしており、関係業者であれば事業遂行は可能であると思う。 ・当該入札は、一般競争入札（価格競争）であり、総合評価落札方式による入札とは異なり、予定価格の設定方法もことなる。

<p>〔抽出番号6：平成23年度国有林野事業特別会計の経理処理に関する指導委託契約一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の契約相手も当該落札者であったのか。</li> <li>・当該業務は、どの程度の業務量なのか。</li> <li>・総合評価落札方式で実施していない理由はなにか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度は、落札業者と別の業者である。</li> <li>・1か月に、2時間、2回程の業務量である。</li> <li>・総合評価落札方式（一般競争入札）は基本的に、「調査」、「研究」、「広報」の事業を対象に実施しているものである。</li> </ul>
<p>〔抽出番号8：森林保険業務システム構築事業改修等業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修業務なので従前から行っている業務なのか。</li> <li>・当該委託事業の内容はどのようなものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりである。</li> <li>・保険業の計算プログラム等の修正である。</li> </ul>
<p>〔抽出番号9：森林技術総合研修所庁舎の管理・運營業務一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札執行調書に最低落札価格が記載されているが、設定する場合と、しない場合があるのか。</li> <li>・最低落札価格を下まわった場合は、どうなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算決算及び会計令に基づき、予定価格が1千万円を超える工事又は製造その他についての請負契約について最低落札価格を設定している。</li> <li>・落札宣言をせず保留とし、関係調査を実施して、事業履行が可能と判断した場合は、契約することとなる。</li> </ul>
<p>〔抽出番号10：林業機械化センター愛機荘の運營業務一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札業者が林業関係者のように思えるが、そのような関係者でないとできない業務なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該センターは、山間僻地に所在しているため、他に応札がなかったものと推測する。</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会としての意見はないが、委員からの意見等については適宜考慮して、今後の発注業務を進めて頂きたい。</li> </ul>	